

Hi! アンドレです

社会教育指導員
アンドレ・エスタニスラオ

私は今、私が小野町に来てから半年以上経過したことに、とても驚いています。町、町民、そして小野町の文化は、非常に活気に溢れていて、とても温かいです。私はフィリピンに2週間帰り、数カ月の間に小野町で撮った写真、経験したことをもとに小野町について人々に話をしました。昨年11月すでに小野町を訪れていた私の両親は、私の話に付け加えて、小野町について家族や友人に話をしていました。私たちは食べ物、文化、そしてフィリピンと



私と私のお姉さん。
私たちの家のクリスマスParty

は異なった場所について話をしました。今回はお返しに、フィリピンでの短いが有意義な滞在について、皆さんに話をしたいと思います。

マニラは小野町と比べると、非常に暖かかったです。私がそこにいた時の平均気温は、およそ25度でした。私は、Tシャツ、ショートパンツ、サンダルで外出することができました。路上でシャツを着ていない男性たちを見るほど、非常に暑い日もありました。私たちはクリスマスに、家で盛大なクリスマスパーティーを開きました。たくさんのフィリピン料理を食べましたが、日本のようにクリスマスケーキを食べません。私は再び友人のみんなに会いました。同じく、家族とも有意義な会話をすることができました。私は病気になってしまったので、望んでいたほど大いに旅行をすることができませんでした。お正月に病気にかかりましたが、家にいたので大丈夫だと感じていました。

私は小野町のここにいることもとてもうれしく思います。非常に寒い天候にも関わらず、私の周りの人々、公民館の職員、小野中学校、浮金中学校の先生方、生徒の皆さんの温かい心は私をととても幸せにしてくれます。

ふるさと小野町会 ふれあい通信



故郷の
想い出
松本克雄
(夏井出身・
埼玉支部)

私は大正の末期、田村郡夏井村大字北田原井町屋に夏井駅前前の吉田産婆さんの手により出生しました。その当時、この付近の赤ん坊の殆どが吉田産婆さんの手により取りあげられたものだといわれています。

小学校の頃は、学校から帰るとすぐカバンを放り投げ、近所の友達と一緒に木登りや魚釣りに、暗くなるまで夢中になって遊んだもので勉強に夢中になつた覚えはありません。この頃の夏井小学校は夏井川をこえた小高い山の上にあります。現在の小学校とは違う所がありました。

子供の頃の楽しい思い出としては、春は武田のお地蔵様のお祭り、秋は諏訪神社の祭礼が最も楽しみで、小遣いとして当時のお金で3〜5銭頂戴したと思います。1銭で甘い飴玉5個くらいは買えた時代です。

映画は、時たま駅前的小屋で活動弁士が語る無声映画が上映されていた事を感じています。当時、この地区の家庭にはテレビは勿論ラジオも殆どなく、またバスなども運行しておらず、唯一の交通機

関としては磐城東線の汽車のみで、従って自分の足で歩くしかなく、自転車も所有している人も少なかった時代でした。

中学に入ると汽車にて通学することになりますが、始業時間の関係上、朝は夏井駅からは間に合わず小野新町駅始発5時45分発の列車を利用する事となり、自宅を出るのは遅くとも5時00分でした。従って、小野新町までの約4キロは歩く事になるが、道路は曲りくねって距離も長く時間もかかるので太子堂付近から線路に入り線路敷を歩きました。

途中短いトンネルを抜け左にカーブすると間もなく蒸気機関車の入れ替え作業のためのポーという音が聞こえたものです。

家を出発すると樋口の造り酒屋の今泉安男先輩宅に必ず立ち寄り同道することを日課としていました。冬にもなると安男さんのお婆ちゃんがお酒の素となるひねり餅をふるまって下さることを楽しみに立ち寄ったものです。これが元気の素となつて、冬の寒稽古時などには膝までの雪をものともせずに通学出来た事を今でも懐かしく思い出します。

因みに、夏井からの汽車通学仲間には、5年生に今泉安男、武沢武雄、4年生に石井国芳、石井国英、3年生に菅野周市と小生、2年生に武沢英夫、1年生に先崎功、菅野茂の諸氏がおりました。

今は多数の方が鬼籍に入られました、心から冥福を祈ります。